

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム フルーツの家

(ユニット名) 3ユニット

記入者(管理者)

氏名 浜瀬 政子

評価完了日

平成 19 年 10 月 25 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 理念は職員が作成している。利用者がその人らしく生活できて、和やかに笑顔あるれる日々を過ごせるよう理念をつくりあげている。		
			(外部評価) 利用者一人ひとりの和やかな日々を支援できるよう、すべての職員で事業所の理念を作成されている。又、ユニットによって課題が生じた場合には、あらためて理念について職員で検討をされている。		さらに、「地域密着型サービス」事業所として、地域の中でどのようなことを目指していくかということについて、この機会に職員で話し合ってみてはどうだろうか。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) ミーティングや勉強会、業務を通して取り組んでいる。また、新人教育や毎朝の申し送り徹底している。		
			(外部評価) 玄関等の共用空間やパンフレットに事業所の理念を明示され、又、職員が集まる会議等でも理念について話し、共有されている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 市の相談員、学校、近所の保育所、スーパーとの交流もあり、認知症について理解を求め、協力していただけるよう、ホームとしての理念を伝えている。		運営推進会議において、グループホームのことを知っていただき、意見も聞かせてもらっている。もう少し、近所との付き合いなども積極的に増やしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 民家は少ないが、外庭掃除の時や散歩へ出かけたり、外で食事をするときには挨拶をするよう徹底している。また、近くの保育園児も時々立ち寄ってくれる。		地域のボランティアやお年寄りなどが立ち寄れるようなことを考える。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会や老人会には参加していないが、ホームの盆踊り大会には地域も方々も参加している。 (外部評価) 近所の保育所の園児が散歩途中で立ち寄ってくれることがある。毎朝、職員は、事業所の外に出て掃除をされ、道路を歩く方々に挨拶をされている。又、職場体験等の受け入れや小学校からの依頼を受けて、認知症についての講演もされている。地域の方々に事業所の理解が深まっており、介護等についての相談等も多々ある。		市報や公民館便りなどから地域の行事を把握して、参加できるようにする。また、運動会なども気軽に参加したい。  今後、事業所では、地域に積極的に出かけ、行事等、地域のことをさらに知るための取り組みを検討されている。又、利用者とともに、小学校や幼稚園の運動会を見に出かけることも考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 市町村と連絡を密にし、介護教室や認知症介護を受託している。また、中学生などの体験実習の受け入れ等を行っている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価という他者の視線からの意見を大切にし、自分達だけの考え方や意見だけでなく多くの意見を参考に改善に取り組んでいる。 (外部評価) ユニットごとに話し合い、自己評価を作成された。この機会を、日々の利用者に対する声かけや対応についての振り返りの機会にされた職員もおられた。前回の評価結果を受けて、居室の入口ドアのガラスの部分について職員で話し合われ、法人代表者とも相談され、すりガラスにされた。		全員の目標を同じにし、改善に取り組んでいきたい。  さらに、自己評価作成時の事業所の気付きは改善への最大の起点でもあり、すべての職員で話し合いながら取り組まれていることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)		
			<p>会議では、サービスの内容や設備に関しても積極的な意見があり、できる限り可能なことはすぐに実行し、報告させていただいている。2ヶ月に1回の開催により、ホーム内では気づかない指導もいただいている。</p>		より多くの方に参加をしていただけるよう運営推進会議の目的などを家族会や地域の中でも広めていきたい。
			(外部評価)		
			<p>盆踊り大会時を運営推進会議とされ、後にアンケートを取る等、行事への意見をいただいた。会議で出された意見を踏まえ、渡り廊下を車椅子で移動できるように改善された。</p>		
9	6	<p>市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>発言や指導を受けたり、入居者の事故や苦情等は連絡、相談をさせてもらっている。問題解決を図れるような体制をとっている。</p>		
			(外部評価)		
			<p>設備や制度について市の担当者と密に相談されながら運営されている。</p>		
10		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	(自己評価)		
			<p>研修会や勉強会にできるだけ参加し、理解しようと努力している。必要な場合に応じて活用できるようにしている。</p>		
11		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	(自己評価)		
			<p>各研修会に参加し、認識している。また、社内の定期的な勉強会やミーティングを通して日頃から虐待防止に対する意識を高め、職員間でも気をつけるようにしている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 時間をかけて利用者や家族が納得できるまで話し合っている。		不安や疑問が少しでも軽減できるようにこれからも努力していきたい。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 相談員が定期的に来てくれ、利用者の相談にのって頂いている。何でも言ってもらえるよう、「何でも言ってください」と声をかけている。何か言われた時にはすぐ対応し、話しやすい雰囲気づくりを心がけている。		意見箱の設置を検討していきたい。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 心身の状態等に問題が起きた場合や受診時は電話や面会時に報告している。また、全員の利用者の家族に生活状況や写真を同封した便りを送らせてもらっている。		手紙の内容を今以上に温かいものにしていきたい。
			(外部評価) 利用者個々にお手紙や写真で日常を報告し、喜ばれている。又、ユニット入口の掲示板には、利用者の笑顔の写真が飾られていた。来訪の少なめのご家族に対しては、連絡する回数を増やし、ご本人の日常の報告をされている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 気軽に言ってもらえる雰囲気づくりを心がけており、苦情の場合は速やかに報告し、対応している。また、苦情の報告書を利用し、ミーティングや勉強会で話し合い改善している。		意見箱の設置を検討していきたい。
			(外部評価) 家族会開催時、家族だけで話し合う時間を設けたいという要望がご家族の中からあり、代表となる方がご家族からの提案等をまとめてくださった。ご家族は、「さらにいい事業所になって欲しい」と言う思いで意見を出されており、職員の服装や言葉かけ等についても率直な意見を出されている。事業所では、すぐに会議等で話し合い、解決策を講じておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回の部署会やケアカンファレンスでは全員参加して意見を聞くようにしている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 状況に合わせた勤務体制がとれており、職員の急病や急用時にも対応できるよう人員確保できている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 利用者との信頼関係を築く為にも、職員の異動も最小限に抑えている。また、離職しないよう時間をかけての育成に努めている。利用者にも新規採用の紹介をしている。		
			(外部評価) 新しい職員は、一日ひとりの利用者を担当し、利用者一人ひとりを理解し、馴染みの関係作りができるよう取り組まれている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 今年度より、研修班を設置し年間を通して、1～2日間かけて新人、1年、3年、5年経験の段階に応じた研修を実施し参加してもらっている。社外での研修も職員が交替で参加できるようにしている。研修後はミーティング等で話をするようにしている。		
			(外部評価) 事業所では、外部研修の受講を推進されており、又、事業所内でも、職員が自主的に研修班を作り、法人代表者のアドバイスを受けながら、職員がスキルアップできるよう研修の仕組みを作っておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			社外の研修を通して同業者と交流をもっている。また相互研修にも毎年参加し、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			相互研修等で、他事業所の良いところを見つけて、採り入れておられる。例えば、ユニットによっては、共用空間にたたみのスペースを設け、利用者がさらにくつろげるようスペースを作っておられた。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			日常会話の中からもストレスに対する悩みを把握するよう努めている。親睦の機会を作り、気分転換ができるようにしている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			各職員の勤務状態や健康状態を把握している。また、職員の資格取得に向けた支援を行い、職場で活かせるようにしている。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			相談時にできるだけ本人とゆっくり話す機会をもうけている。また、会話や行動により不安なことなどもくみ取る努力をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事業所に相談来られた時、家族が不安に思っていることや求めていることなど聞き出し、受け止める努力をしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 今は何が一番大切かをよく把握して、本人や家族の本音を理解して、サービスの情報を紹介している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 通所介護や訪問介護も併設しており、ホームや利用者馴染めるような環境を整えている。慣れるまでは家族と連絡をとってもらったり、訪問してもらうようお願いしている。		
			(外部評価) 併設のデイサービスを利用されていた方が事業所に入居されることもあり、入居後もデイサービスの仲間と一緒に過ごす時間を設けておられる。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者のできることを把握し役割を持ってもらい、学んだり支え合って一緒に過ごしている。また、教えてもらった時には感謝の言葉かけている。		
			(外部評価) 利用者が職員のズボンのほつれを見つけ、繕ってくださることもある。		



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 暮らしぶりや状態の変化は随時報告し、それぞれの家族の思いを理解して、ホーム内や行事などできるだけ利用者と一緒に時間を過ごしていただいている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) フェイスシートを利用し、今までのことなどもしっかり聞いて作成し共有している。家族が来やすい雰囲気づくりに取り組むことで、面会が多くなるように努めている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの人の面会はあるが、馴染みの場所へはあまり行けていない。		利用者一人ひとりの馴染みの場所を知る。また、気軽に出かけられるよう勤務の調整を行う。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係を常に職員が把握し、状態に応じて見守りをしている。孤立しそうなときは職員が傍で寄り添い、うまく支えあえるよう努めている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院中の利用者には職員が再々面会に行っており、相談を受けたりすることもある。また、家族との関係がなくならないように連絡し相談しやすい雰囲気づくりを心がけている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人の意向や家族の意向も聞き、フェースシートを利用して職員間で共有し、把握している。また、日々の関わりの中で可能な限り本人の意向を第一にしているが十分でない。		本人の気持ちをもっと理解し、今できることの発見をし、継続する。
			(外部評価) 調査訪問時、当日、誕生日の方のリクエストに応え、赤飯であった。職員は意向を把握することが難しい利用者に対しても、頻繁に声かけをされ、表情等からも思いを汲み取れるよう心掛けておられた。		事業所では、センター方式のアセスメントを一部採り入れておられる。さらに、今後も、ご本人の「和やかな暮らし」を支援するためにも食事の雰囲気や重度化、終末期のあり方等、事業所での暮らしの希望についても探っていかれてはどうだろうか。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人や家族から情報をもらい、フェースシートを作成し、職員がわかるようカルテに綴じて馴染みの暮らしが支援できるよう努めている。		フェースシートなどの利用はできているが、職員が情報を同じように把握できていないので、今以上に本人や家族との会話を大切にする。
			(外部評価) 健康面や体力なども考慮し、無理のない生活の支援をしている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 健康面や体力なども考慮し、無理のない生活の支援をしている。		
			(外部評価)		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 家族の参加は十分ではないが、できる限りの情報収集をして介護計画を作成している。また、ケアカンファレンスを行い、よりよい介護計画が作成できるよう努力している。		本人や家族を交えての話し合いも今後は積極的に行う。
			(外部評価) 事業所では、利用者の目線に立って計画を作成することに心がけておられる。ご家族との会話の中でご本人について相談し、職員の意見も採り入れ、ご本人に意見を聞きながら計画を作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 6ヶ月に1回は見直しているが、随時にはできていないことがある。また、状態に変化が起きた場合関係者との話し合いはできているが計画に反映できていない。		状態に合わせた介護計画の作成を行っていきいたい。
			(外部評価) 現在は、6ヶ月ごとに計画を作成され、3ヶ月ごとに計画内容についての評価をするようになっている。		今後、3ヶ月ごとに計画を見直すことを決めておられる。さらに、利用者の状態に即した計画の作成から日々のケアにつなげていきたいと話しておられた。
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の様子はカルテ等に記入をしている。また、大きな変化はフェースシートや介護計画の空きスペースへ付け足している。情報の共有は不十分なこともある。		情報の共有ができるシステム作りを考え、行っていきいたい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 本人、家族の状況に応じて通院や送迎等必要な支援は柔軟に対応し、個々の満足感を高めるよう努力している。また、リハビリ室の設置等をし、他のユニットの人たちとも馴染みの関係ができている。家族からはリハビリの声が多いので支援している。		
			(外部評価) 病院受診の同行や併設サービスとの交流、リハビリ室の利用等を支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 近くに病院やスーパー等あり、民生委員や相談員もよく来てくれ協力してもらっている。中学生は職場体験学習に来てくれた。普段から警察、消防の協力あり。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ほとんどできていない。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括支援センターの職員の方とは周辺情報や支援に関する情報交換ができる関係を築いており協力してもらっている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 看護師が対応し、連携医療も確保している。必要なときや希望があるときも随時対応している。  (外部評価) ご家族が病院受診に同行される際には、事業所での様子をご家族に伝えたり、時には看護師資格を有する職員がご家族とともに同行されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 連携病院の医師は理解があり、利用者の治療に応じて相談している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 常勤の看護職があり、隣りの敷地が総合病院で24時間協力あり。また、保健師さんなどの訪問もあり相談にのってもらっている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 病院へ訪問し、主治医、病棟師長、ケースワーカーなどに経過を確認し、退所後の受入れ態勢を整えることに努めている。家族と情報交換や希望も確認し、早期退院の支援をしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 終末期を迎えるにあたり、早い段階から家族、医師との話し合いを持っている。終末期に関する指針を定めている(家族、主治医の協力がある。医療行為は行わない)また、職員間の意識の確認も行っている。 (外部評価) 利用契約時、事業所の方針を説明され、ご家族、ご本人の意向等を聞き取るようにされている。利用者が病院に入院された場合は頻繁にお見舞いに出向いておられる。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 事業所内でできること、できないことは確認し統一している。状態に合わせて医師や家族とも話し合い、ホームとして支援できる内容を相談し、最期まで普通の暮らしを支援している。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他の場所が変わるときは本人が困らないように話し合い、情報交換を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>					
<p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>言葉かけや対応に気をつけるよう心がけているが不十分な時もある。</p>		<p>プライバシーについてや言葉かけ等の対応について今後の勉強会やミーティング等で徹底していくよう話し合う。</p>
			(外部評価)		
<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>			<p>(自己評価)</p> <p>質問は短い言葉で答えられるようにし、分かりやすく言うように心がけている。言葉が出にくい時は繰り返し聞いたり、言いたいような言葉を言ったりしている。</p>		<p>言葉だけでなく、態度や表情から感じたり、自己決定できるような場面を作っていきたい。</p>
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>できる限り、利用者のペースに合わせるよう心がけている。入浴の時間帯などは職員側にあわせてもらっていることが多い。</p>		<p>利用者に合わせていけるように、自分たちができるところ、できそうなことから始めてみる。</p>
			(外部評価)		
<p>利用者のできそうなこと、できないこと、又、身体機能等、利用者の状態についてシートを作成し、共有されている。調査訪問時、利用者が椅子から立つ動作に合わせて、職員がサポートされている様子がうかがえた。</p>					

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 本人の望む店には一部の人しか行けていないが、毎月ホーム内で美容師に来てもらっている。洋服はできるだけ利用者に選んでもらっている。		家族の協力を得て、本人の望むおしゃれもしていきたい。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 準備や片付けはほとんど職員が行っているが、海老の皮むきなどの下ごしらえのできる人にはしてもらっている。		
			(外部評価) 利用者が食材の下ごしらえ等をされることもあるが、現在は、空間の制限等のこともあり、利用者が食事一連にかかわることは少なめである。		利用者一人ひとりにとって、さらに食事の時間が楽しくなるよう職員の関わり方等、雰囲気作りの工夫を重ねていかれることが期待される。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 現在お酒やたばこをを望まれる方はいない。飲物やおやつはできるだけ本人の希望に添えるようにしている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) できるだけトイレでの排泄を考え、トイレ誘導を行っている。排泄パターンを記入し把握している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			希望に合わせて入浴できている人もいるが、昼食後に入ることが多い。入る順番などは本人の希望を聞いている。		ゆっくりくつろいだ入浴ができるよう支援していく。
			(外部評価)		
			入浴を嫌がられるような方には、医師から声をかけていただくこともある。		さらに、今後、ゆっくり湯船でくつろいだり、お湯の温度等にも気を配りながら支援していきたいと話しておられた。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			その人の状態を見ながら休んでもらうよう体調保持に努めている。日中は散歩やドライブ、リハビリ等行い、適度な疲れも考慮して生活リズムを整えられるよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			洗濯ものをたたんだり、台ふきなどできることはしてもらっている。気晴らしに散歩や買い物にも出かけている。		張り合いや喜びのあることを見つけて楽しく過ごしてもらえるよう支援していきたい。
			(外部評価)		
			職員と一緒に布団を干したり、掃除機をかける方や新聞を取りに行かれる方もおられる。		さらに、今後も利用者一人ひとりについて、暮らしの張り合いや喜び、又、気晴らしになるような事を見出し、支援していかれることが期待される。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			自己管理のできる人には家族と相談の上、小遣い程度持ってもらっている。また、出納帳に記録し明確にしている。		入居時に本人や家族の意向を聞いているが、ホームでの管理が殆どである。



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	<p>日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	(自己評価)		
			<p>希望通りではないかもしれないが、天候や体調をみて散歩やドライブに出かけている。また、庭に出ておやつや食事をしたりしている。</p>		<p>戸外で季節を肌で感じてもらいたい。 希望を聞き、それに応じられるようにしていきたい。</p>
			(外部評価)		
			<p>近くのグラウンドに野球を見に行かれたり、野の花を摘んで帰られることもある。又、利用者の要望でご自宅に帰ったり、お墓参り等の要望がある場合には介護計画に盛り込み、支援されている。</p>		
62		<p>普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	(自己評価)		
			<p>ドライブには利用者何名かずつで行っている。家族との外出で自宅に帰ったり食事や買い物に行かれる人もいる。</p>		<p>今後、家族も一緒に行けるよう呼びかけたり、協力をしていただけるよう努力したい。</p>
63		<p>電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	(自己評価)		
			<p>いつでも電話が使用できるようになっている。また、希望のある人は年賀状や手紙を書いてもらっている。</p>		
64		<p>家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	(自己評価)		
			<p>ホーム内にソファーもあり、居心地よく過ごしてもらえるように雰囲気づくりにも心がけている。</p>		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)  ミーティングや勉強会で実施しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		定期的な勉強会を継続し、職員の意識を高める。言葉遣いにも配慮する。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)  自由な生活を目標に、日中はカギをかけていない。		
			(外部評価)  玄関に鍵をかけておられない。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)  基本的には居室の扉は閉め、プライバシーに配慮している。日中、ホールにはスタッフがいるように努めている。また、夜間は一時間毎の巡回にて安全を確認している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)  ハイター類は目のつきにくいところへ置くようにしている。なくすばかりではなく見守りを十分にし、関わっていくことにも取り組んでいる。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)  事故報告書の提出や毎月、職員一人ひとりがヒヤリハットの報告をし、その時の状況や改善策等を検討してミーティング等で話し合い、共有意識を持ち事故防止に取り組んでいる。		職員一人ひとりのケアの質の向上をはかりたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価)  緊急時の対応は勉強会や研修などで学んでいる。また、マニュアルも作成している。		今後、消防署にお願いし、防火訓練以外にも救急の対応の指導をしてもらえる機会を検討している。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価)  年2回消防署の協力を得ての避難訓練や、月1回の抜き打ちでの避難訓練を行っている。近隣の工場や病院、社宅など協力してもらえよう願っている。  (外部評価) 災害時等には、近隣の総合病院とクラレ、事業所の三社で連携し、相互協力を約束されている。抜き打ちの避難訓練は、回数を重ねるごとに所要時間が短縮している。さらに、その時に訪れている人達にも呼びかけ、参加していただいている。又、訓練時の課題については、研修として職員全員で意識して取り組めるようすすめておられる。		数分でも早く避難できるよう訓練を重ね、努力したい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価)  日頃より面会が多いので、面会時に話しをしたり希望を聞いたりしている。緊急の場合は電話で話し合い、また受診状況も随時報告している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価)  変化や気づいたことがあれば報告し合い、日頃のバイタルチェックや変化時の記録を見て対応するようにしている。また、緊急を要する場合はその都度報告し、指示をもらい対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 職員は理解しており、変化のある場合は看護師に報告し、主治医に相談している。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 日頃から水分補給や繊維質の多い献立に気をつけている。便秘予防の為、適度な運動にも心がけている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) ハミガキの声かけをし、自分でできない人には介助をしている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養士が献立を立てており、栄養バランスは取れている。食事量は記録している。水分補給は果物や汁物などを献立にも取り入れ気をつけている。また、ティータイムや食事、入浴後などもお茶の摂取を促している。 (外部評価) 栄養士が立てた献立表に沿って、調理担当の職員が食事を作っておられる。介護計画書にも水分補給の支援を盛り込み、すべての職員で意識して支援しておられる。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 勉強会等で徹底しており、手洗いやうがいは励行している。また、感染症マニュアルも作成しており、速やかな対応ができるようにしている。本年もインフルエンザの予防接種、利用者、職員終了。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>栄養士が管理指導しており、台所などは常に清潔である。食材も新鮮なものを仕入れ、長期保存しないようにしている。</p>		
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ホームの表札もわかりやすく、玄関のドアも違和感のないように作り変えている。玄関周囲は草木や花などもあり、和やかな雰囲気作りを心がけている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>戸の開閉や職員の声のトーンや大きさは気をつけているが十分でない。日中はまぶしくないよう、レースのカーテンを使用し、照明の明るさにも配慮している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>掃除の徹底を心掛けておられる。日当たりのよい居間が利用者の集う場所となっていた。リハビリ室で身体を動かす方もおられる。</p>		<p>職員の会話のトーンはミーティングで意識付けをする。</p> <p>さらに、この機会に、トイレ等の換気や温度等への配慮についても話し合われてはどうだろうか。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>部屋は個室になっており、ソファーやベンチ等で自由に過ごせるよう工夫している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			自宅で使っていたものを持ってきている人は少ないが、使い慣れたベットやタンス等で居心地よく過ごされている方もいる。		
			(外部評価)		
			居室には、事業所でタンス、ベッド、テレビが設置されている。又、ご本人の写真や誕生日プレゼントに贈られた職員手作りのクッションがあった。又、ご自分のタンスやベッドを持ち込まれている方もおられた。		さらに、利用者それぞれが居室でも自分らしく、居心地よく過ごせるよう、雰囲気作りの工夫についても話し合われてみてはどうだろうか。
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			温度計、湿度計を設置し、適宜換気を行っている。汚物はふたつきのバケツを使用し、トイレ掃除もこまめに行い、ハイター消毒をしている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			建物内はほとんどバリアフリーで、廊下やトイレ、浴室等には手すりもついており、歩行の障害になるようなものは置かないようにしている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			トイレや浴室には表示もあり、各居室には果物の絵を貼り目印にしている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			広い敷地であるが、畑や花壇があり、草引きや野菜の収穫などで楽しんでもらっている。庭にはベンチや縁台もあり休憩できるスペースもある。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者や家族の思いや願いを聞き、フェイスシートを作成し情報を把握している。利用者が望む生活ができるよう職員間で話し合っているが十分でない。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ② 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	ソファーに座り会話をしたり、テーブルを囲みお茶や食事をしたりと一日に何度もそういった場面があるが全てがゆったりではない。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日中は施設もなく自由に過ごされている。無理強いはしないようにしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	朝は元気で挨拶をしてくれる。温かくゆったりとしたペースで接することを心がけており、穏やかな生活が送れるよう支援している。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	軽度の方は散歩や庭へ出かけているが、重度の方は十分ではない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	週に一度の往診や受診もしており健康管理は行なえているが、安全面では十分でない。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	運営者や上司に相談したり、チームで話し合ったりしてできるだけ良い方向で対応している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時には利用者の日々の報告をしたり、要望を聞くようにしている。気軽に会話できるように心がけており、信頼関係を築いている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	併設の通所介護へ通っている人もいる。また、利用者の家族や友人はよく来てくれ、たまに近所の保育所の子供たちも来てくれている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 大いに増えている ③ 少しずつ増えている ④ あまり増えていない ⑤ 全くいない	民生委員や相談員も参加しており、地域の方からも気軽に声をかけてくださるようになった。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ② ほぼ全ての職員が ③ 職員の2/3くらいが ④ 職員の1/3くらいが ⑤ ほとんどいない	チーム内で食事会をしたりしてコミュニケーションをとっている。利用者とのかかわりも積極的で、一緒に楽しもうとする姿が見られる。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② ほぼ全ての利用者が ③ 利用者の2/3くらいが ④ 利用者の1/3くらいが ⑤ ほとんどいない	日々の会話や表情で概ね満足できていると思うが、「家に帰りたい」という思いには応じられていない。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② ほぼ全ての家族等が ③ 家族等の2/3くらいが ④ 家族等の1/3くらいが ⑤ ほとんどできていない	面会時、家族より感謝の言葉をかけてくれることが多いので概ね満足していただけているかと思うが、十分ではないこともあるので満足されていない家族もいるかもしれない。

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・「和やかで、笑顔あふれる生活づくり」を理念にあげ、利用者の思いを第一に考え安心して穏やかに過ごせるよう支援している。
- ・職員は笑顔を大切に、優しい声かけや対応を心がけている。
- ・毎年盆踊り大会を開催し、地域の方にも参加してもらっている。
- ・掲示板を使用し、行事の写真や予定を貼ってわかりやすくしている。
- ・誕生日のプレゼントは手作りを心がけており、その日にユニットの利用者でお祝いしている。
- ・リハビリ室の設置、機能低下やレクリエーションの場となっている。
- ・年2回の防火訓練(消防署員指導)と、毎月1回抜き打ちで避難訓練を行っている。
- ・数ヶ月に1度家族に写真を同封した手紙を送っている。
- ・勉強会や全員参加でのケアカンファレンスなどを行い、サービスの質の向上のための勉強する機会をもっている。
- ・ホームは静かな地域にあり、併設の通所介護とは廊下でつながっており、利用者同士が自由に行き来ができるようになっている。また、リハビリ室の設置により、通所介護の利用者とも接する機会が増えている。
- ・庭に畑や花壇をつくり、季節の野菜や草花の手入れや収穫を手伝ってもらうことで季節感を味わってもらえるよう工夫している。また、ホーム内にも季節の草花を飾り五感への働きかけになるよう工夫しています。